

もんし 聞思

発行所 光山寺
〒758-0063 大字山田4553
萩市 (0838) 22-1370
http://kousanji.net

見て下さると思えばがしまし、
護つて下さると思えば気がらくになり。
信心とは慈悲の角力(すもう)に負け
たことなり。
—連院秀存

萩仏教会のゆるキャラが決まる



萩市仏教会では五十周年を記念して、ゆるキャラマスコットを作成することとなり、本年の花祭りに際し募集したキャラクターを発表した。実物大のゆるキャラマスコットの登場と名前の披露は今秋になる予定ですが、キャラクターの一部には、光山寺日曜学校に通っている坂井雛乃ちゃん(ひなの)のデザインが、優秀賞として一部採用されました。(藤井 怜・小橋 未侑(みゆ)ちゃんも入選)今後は各種仏教会行事や子供会等にも出前出張するゆるキャラです。どうぞ宜しくお願いします。

■法統継承式、六月六日(金曜日)午前十時より

この度、浄土真宗本願寺派門主が、第二十四代即如門主から新門主さまに法統が継承され、専如門主が第二十五代門主として就任される。門主とは、教団を統裁される方で、本願寺の住職でもある。法灯を伝承してわたしたちの教団を統一されます。浄土真宗本願寺派では、親鸞聖人の孫、如信上人が第一代をつがれて以来、聖人の子孫が本願寺をつがれ、現在の門主は二十四代大谷光真門主(即如上人)であり、わたしたちは「ご門主さま」とお呼びしています。また、門主を退かれた方を「前門主さま」とお呼びします。西本願寺では、六月五日(木曜日)午後三時三十分より御消息発布式(第二十四代即如門主御消息発布式)が行われ、翌日には法統継承式と新門主による御消息が発布される予定である。

《門徒推進員になりました》

この度、萩組の連続研修会(通称「連研」)の第十一期を受講修了された山平勝彦さん(萩市前小畑)が、ご本山での中央教修を受講され、新たに門徒推進員となられました。



門徒推進員養成中央教修を終えての感想を頂戴しましたので、ここに紹介します。「萩を出発してご本山の聞法会館に到達し、他の参加者と合流するまでは、とても緊張していましたが、心配することなく参加の皆さんとくけ込むことができ、安堵しました。教修は早朝より静寂の中での読経に始まり、夜遅くまでの勉強会など少々せわしなかった三泊四日の教修でした。しかし、参加の皆さんとは仲良くなり、友達もでき、とても有意義に過ごすことができました。一番緊張したことは、阿弥陀様の前での決意表明でした。今でも忘れる事はできません。また、講義で印象に残っている事がありますが、ここでは記載を控えておきます。自分自身が常日頃、気づかずにいた言動を教えられ、また考えさせられ、それを実行する事の難しさを認識しました。いまもって思い出すこの事を念頭に、今後は自分自身が気負わずに、先輩門徒推進員の方々とともに頑張りますので、よろしくお願ひします。」

《門徒推進員連絡協議会会長になりました》

萩組の門徒推進員で構成する門徒推進員連絡協議会会長に野村精一さんが就任されました。前会長の岸八重子さんを引き継いで二年間の任期となる。野村精一(釋勇哲)さんにも就任の言葉を頂戴しました。「今年、二月に開催された萩組門徒推進員連絡協議会にて、門徒推進員の皆さまにより推挙されました会長の野村精一です。日頃は、萩組門徒推進員活動にご協力いただき誠にありがとうございます。お陰様で新たに萩組第十一期の連続研修会が昨年十一月にスタートした中での就任となりました。研修修了後は中央教修を受講されるよう期待し、新たな門徒推進員の仲間が増えることを願っています。僧侶との密接な連絡提携のもと、一般社会や日常生活に根ざした実践運動を推進するのが門徒推進員です。それは、全員で聞法し、全員で伝道していくことです。浄土真宗の門徒として、宗祖親鸞聖人のみ教えに問い、み教えを聞き、語り合う朋友として、今後とも出来ることから一歩一歩と歩んでいきたいと考えています。」

光山寺行事案内

平成二十六年年度の光山寺中期行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要

五月一日(木・金曜) 春季永代経法要(講師、福田康正師)
九月二九・三〇日(月・火曜) 秋季永代経法要(講師、香川孝志教師)

★山口教区・萩組

五月二一日(水曜) 萩組初参式(萩幼稚園)

五月三一日(土曜) 萩組総代会総会・研修会(光源寺)

六月八日(日曜) 萩組仏教婦人会大会(萩幼稚園)

六月一〇日(火曜) 山口別院、永代経法要(萩組参拝日)

六月二〇日(金曜) 萩組仏教壮年会総会・研修会(真行寺)

七月二六・二七日 萩組子供一泊合宿(萩幼稚園)

★子供会(土曜学校)

午前九時(本堂)

五月十七日(土曜)・六月二一日(日曜)・七月十九日(土曜)

八月二日(土曜) ※原則第三土曜家族の日開催。

★仏教青年会

子供会と合同開催(庫裏)

五月一七日(日曜)・八月二日(日曜)

★仏教壮年会

六月一五日(日曜) 午後七時 仏教壮年会総会(本堂)

九月二八日(日曜) 午前八時 光山寺ソフトボール大会

★仏教婦人会

五月十八日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式

五月二四日(土曜) 午後一時半 全役員会

六月二七日(木曜) 午前八時半 清掃・荘厳・リハーサル

六月二八・二九日(土・日曜) 光山寺婦人会法座(衛生書師・築波敏道師)

★総代会

六月二二日(日曜) 午後五時(本堂) 総会

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ)

午後八時(本堂)

五月十日(土曜)・六月十四日(土曜)・七月五日(日曜)

八月九日(土曜)・九月十三日(土曜)・十月十一日(土曜)

★親鸞聖人讃仰会

午後八時(本堂)

六月十六日(月曜)・八月十一日(月曜)

★雅楽練習会

午後七時半(庫裏)

五月二五日(日曜)・七月六日(日曜)

★コーラスの練習日程

※コーラスの練習日程についてはお問い合わせください。

募集・お知らせ



●お経の練習会(旧、礼讃の夕)五月十日(土曜日)午後八時より今年も!

「正信念仏偈」等の練習をしてきましたお経の練習会も今年で二十四年目となります。となたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後八時)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的勤行の一通りを練習したいと思えます。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので参加当日にお申し出ください。最近では新しい参加の方も増えつつあります。お若い方、はじめて参加の方は大歓迎です。(お申し込みは不要・無料です)

●光山寺初参式 五月十八日(日曜)午前九時半

親鸞聖人のご誕生日である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月十八日光山寺本堂にて開催されます。生後一年くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあつたおの初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらつしゃいました是非お申し込み、ご参加ください。尚、お子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けています。また、萩組の初参式は五月二十一日に萩幼稚園にて開催予定です。こちらも参加受付中です。



●親鸞聖人讃仰会 会費募集中!

親鸞聖人のみ教えを讃仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人讃仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。西本願寺の『季刊せいてん』を中心に学習します。浄土真宗聖典註釈版が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。尚、開催は偶数月第三日曜午後八時より(次回六月十六日)となりますのでご注意ください。(詳細は別紙にて申し込みください。)

●本の紹介 『いまを生かされて』

本願寺門主を退任される現在の「門主さま」近刊の本です。御影堂で参拝の皆さんとともに毎朝お勤めする親鸞聖人のご和讃について、日ごろ味わいを感じていることを記されたものです。親鸞聖人が制作された「三帖和讃」をテーマにされた法話集で、現代人の課題などを通して、自他ともに心豊かに生きることとは何かを問われています。「あとがき」では、東日本大震災について述べられ、「原子力発電に対する私の考え」を示されています。(本願寺出版社、二二九六円)



■除夜会で富くじ抽選会を盛大に開催
大晦日恒例の除夜会では、昨年はじめて富くじが実施された。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されるが、昨年は鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めである修正会に引き続き福引き抽選会を実施した。多くの参加者があり、一〇八枚の抽選券では足りない状況でもあつた。富くじ景品を得た人も二十人と多く、盛況にて終了しました。景品出経費に際しては総代会と仏教青年会より、また福引き抽選会では仏教青年会にご協力頂いた。



■萩組門信徒の集い(記念法座)若院出講
現「門主さまの萩組」巡教を記念して毎年開催される萩組記念法座に、本年度は若院が出講する事となつた。今年七月二十日(日曜日)の午後一時半から萩幼稚園を会場に開催される。講題は「信心の花咲かん」幕末維新期、萩の念仏者に学ぶ」と題して、幕末維新期の念仏者とエピソード、またその念仏理解から真宗念仏の理解についてお話する予定である。どうぞ皆様お参りください。



■仏教豆辞典「通」

「あの人は芝居通だ」とか、食通、消息通などその道によく精通している人を、〇通だといひます。また、人情にゆきわたり、やばでなく、さばけている人を、通人といひます。この「通」は、仏教語の「神通力」から来た語のようです。神通力とは仏や菩薩の持つ、一般の人間の能力を越えた、不可思議で自由自在な活動能力のことです。自由に望む場所に現われたり、一般の人間の見られないところを見たり、聞けない声を聞いたり、他人の考えていることを知ったり、宿世の善悪を知ったり、煩惱のけがれがなくなったことを知ったりするなどの能力で六神通と呼ばれています。お盆の話で有名な目連尊者は、この能力に優れ、神道第一と尊ばれていました。この神通力が、後に、神通や通力となり、さらに通となつていったようです。さて、あなたはどの通ですか。

『仏教用語豆辞典100』辻本敬順著より

■法話「時は金では買えない」 備後教区 毛利恭典

私は十数年前、慢性の病気で二年間入院生活をしました。その時は無駄な時間を費やしているようで、あせりの気持ちをおさえる事が出来ませんでした。今振り返ってみると、私なりに人生を考えるよい機会を恵まれたと思えます。あの二年間がなかったら、今の私の人生はなかつたでありましょう。それと申しますが、実は、今一刻一刻かけがえのない時間の中に私が生かされてあるという事です。今の一時との出遇いは私にとって初めてであると同時に永遠の別れでもあります。私が何処に長生きしても、またと私の一生の中に帰って来ることはありません。「時は金なり」と言いますが、今日の一日は何処に多くのお金を払っても再び私のもとへ返って来る事はないのです。今日は日が悪いとか今日の様な悪い日は早く過ぎてしまつた方がよいとか、今年が悪い年である早く行つてしまつた方がよいなどと言う事がありますが、本当にもつたいたいことに思われてなりません。たとえ私にとつて悪い日であつても、つまらぬ年であつてもいろいろなものを捨てるように何のおしげもなく捨ててしまふようなものではありません。私達は目に見えるものは大切にしますが、目に見えない時間はいついっくらでもあるように思いそまつに扱つてしまひます。今をそのままにすれば一日を無駄に過ごせば一生を空しく過ごしてしまふ事になります。如来さまは「仏法には明日と申す事あるまじく候」と何時までもわがままに生きて行ける時間が与えられているように思い、大切な一日を踏みにじつて行こうとする私に、明日は無いのだ、今日一日のかけがえのない人生を大切に力一杯生きるようにいさめられております。

■西島孝一さん萩市議会議員に当選

四月二十七日に行われた萩市議会議員一般選挙の結果、光山寺仏教青年会会長でもある西島孝一さん(平安古)が当選されました。前期では副議長として尽力され、今回益々のご活躍が期待される所です。おめでとうございます。